

17 技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会の誘致について

(厚生労働省、(独) 高齢・障害者雇用支援機構)

【内容】

平成26年度の技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会を愛知県で開催すること。

(背景)

- 本県は、自動車産業の集積地であるが、加えて古くから地域に根付き、また人々の生活を豊かにしてきた繊維や窯業、食品産業から最先端の航空宇宙産業に至る多様で厚みのある産業集積を有し、高い技術や技能に裏づけされた「モノづくり」県である。
- 近年、団塊世代の大量退職による技能継承の問題や若者のモノづくり離れ、さらには少子化による若年労働者の減少が懸念される中、本県産業活力の維持・強化に向け、モノづくりを始めとする産業人材の育成は喫緊の課題となっている。
- 技能五輪全国大会は、本県の次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、優れた技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く県民一般に対して技能の重要性、必要性をアピールすることにより、技能尊重気運を醸成し、モノづくり人材の育成を図るものである。
- 全国障害者技能競技大会は、本県の障害者が技能労働者として社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、その職業能力の向上を図るとともに、広く県民一般に障害者に対する理解を深め、その雇用の促進と地位の向上を図るものである。
- 過去の両大会において、本県からは多数の選手が参加し、昭和61年以降、最優秀技能選手団賞を24年間で22回獲得するなど、優れた成績を収めてきている。両大会の開催は、モノづくりを大切にし、技能を尊ぶ心を社会全体で共有し、次代のモノづくり愛知を担う産業人材の育成に向けた取組を戦略的に推進していくうえで、大きな意義を持つものである。
- こうしたことから、平成21年9月の定例県議会において、平成26年度の両大会の本県誘致を正式に表明するとともに、開催基本構想を検討する会議を、学識経験者、参加企業・団体、教育訓練機関等の参画を得て立ち上げ、平成22年3月に開催した第2回会議で基本構想をとりまとめた。

(参 考)

○ 次年度以降のスケジュール

| 時 期 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------|------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|
| 活動内容 | 開催準備委員会 (大会基本計画の策定) | | 推進協議会 (大会実施計画の策定) | | → 開催 11月頃 → |
| | 記念イベント 広報啓発活動 | 啓発イベント 広報啓発活動 選手育成事業 | 啓発イベント 広報啓発活動 選手育成事業 | プレイベント 広報啓発活動 選手育成事業 | |

○ 技能五輪全国大会等の開催状況等

※の大会は、国際大会への選手選考を兼ねる

| 開催年度 | 技能五輪全国大会 | | 技能五輪国際大会 | | アビリンピック全国大会 | |
|--------|----------|---------|----------|------|--------------|------|
| 平成18年度 | 第44回※ | 香川県 | | | 第29回 | 香川県 |
| 平成19年度 | 第45回 | 中央(千葉県) | 第39回 | 日本 | (国際大会(静岡)開催) | |
| 平成20年度 | 第46回※ | 中央(千葉県) | | | 第30回 | 千葉県 |
| 平成21年度 | 第47回 | 茨城県 | 第40回 | カナダ | 第31回 | 茨城県 |
| 平成22年度 | 第48回※ | 神奈川県 | | | 第32回 | 神奈川県 |
| 平成23年度 | 第49回 | 中央 | 第41回 | イギリス | (国際大会(ワル)開催) | |
| 平成24年度 | 第50回※ | 長野県 | | | 第33回 | 長野県 |
| 平成25年度 | 第51回 | 未定 | 第42回 | ドイツ | 第34回 | 未定 |
| 平成26年度 | 第52回※ | 未定 | | | 第35回 | 未定 |

○ 技能五輪全国大会への本県選手の参加・入賞状況

| 大会の開催状況 | | 本県の参加状況 | | 本県の入賞状況 | | | | | |
|----------------|----------------|--------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
| 開催年度 | 競技職種 参加選手 | 参加職種 参加選手 | 全国 順位 | 金賞 | 銀賞 | 銅賞 | 敢闘賞 | 合計 | 全国順位 |
| 第47回 (21年度) | 40職種 983名 | 23職種 132名 | 選手数 1位 | 12職種 13名 | 11職種 15名 | 15職種 19名 | 15職種 29名 | 21職種 76名 | 1位 |
| 第46回 (20年度) | 39職種 953名 | 23職種 134名 | 選手数 1位 | 11職種 11名 | 14職種 22名 | 14職種 21名 | 11職種 27名 | 21職種 81名 | 1位 |
| 第45回 (19年度) | 43職種 980名 | 23職種 121名 | 選手数 1位 | 12職種 12名 | 11職種 17名 | 16職種 32名 | 9職種 18名 | 20職種 79名 | 1位 |
| 第44回 (18年度) | 45職種 1,158名 | 23職種 120名 | 選手数 1位 | 9職種 12名 | 16職種 22名 | 13職種 17名 | 9職種 19名 | 19職種 70名 | 1位 |

○ 全国障害者技能競技大会への本県選手の参加・入賞状況

| 大会の開催状況 | | 本県の参加状況 | | 本県の入賞状況 | | | | |
|------------|--------------------------------|--------------|----|---------|----|----|------|--|
| 開催年 | 競技種目 参加選手 | 参加職種 参加選手 | 金賞 | 銀賞 | 銅賞 | 合計 | 全国順位 | |
| 第31回(21年度) | 21種目 276名 | 7種目 7名 | 1名 | 1名 | 0 | 2名 | 10位 | |
| 第30回(20年度) | 23種目 246名 | 6種目 6名 | 1名 | 3名 | 1名 | 5名 | 2位 | |
| 平成19年度 | 国際アビリンピックが静岡県で開催され、全国大会は開催されず。 | | | | | | | |
| 第29回(18年度) | 32種目 344名 | 9種目 9名 | 5名 | 1名 | 0 | 6名 | 3位 | |